

The background of the slide features a dark blue and green color scheme with a grid pattern. On the left, there is a white-bordered box containing financial data for a stock. The data includes the date 'Friday, Sep 16, 2011', and various price points such as 'Open: 0.25', 'High: 0.25', 'Low: 0.15', 'Close: 0.25', and 'Volume: 485,300'. Below this, there are several lines of data with values like '0.200', '0.0000', '0.250', '0.0000', and '0.0000'. On the right side, there is a large candlestick chart with white and black bars, showing an upward trend. A white line with a triangle marker is also visible on the chart.

2019年度 商法第2部

2019年11月27日(木)

繰延資産

「将来の期間に影響する特定の費用は、次期以降の期間に配分して処理するため、経過的に貸借対照表の資産の部に記載することができる。」(企業会計原則第三・一D)

「『将来の期間に影響する特定の費用』とは、すでに代価の支払が完了し又は支払義務が確定し、これに対応する役務の提供を受けたにもかかわらず、その効果が将来にわたって発現するものと期待される費用をいう」(企業会計原則注解注15)

「繰延資産の会計処理に関する当面の取扱い」(平成18年9月8日 実務対応報告第19号)

①株式交付費, ②社債発行費等(新株予約権の発行に係る費用を含む。), ③創立費, ④開業費, ⑤開発費

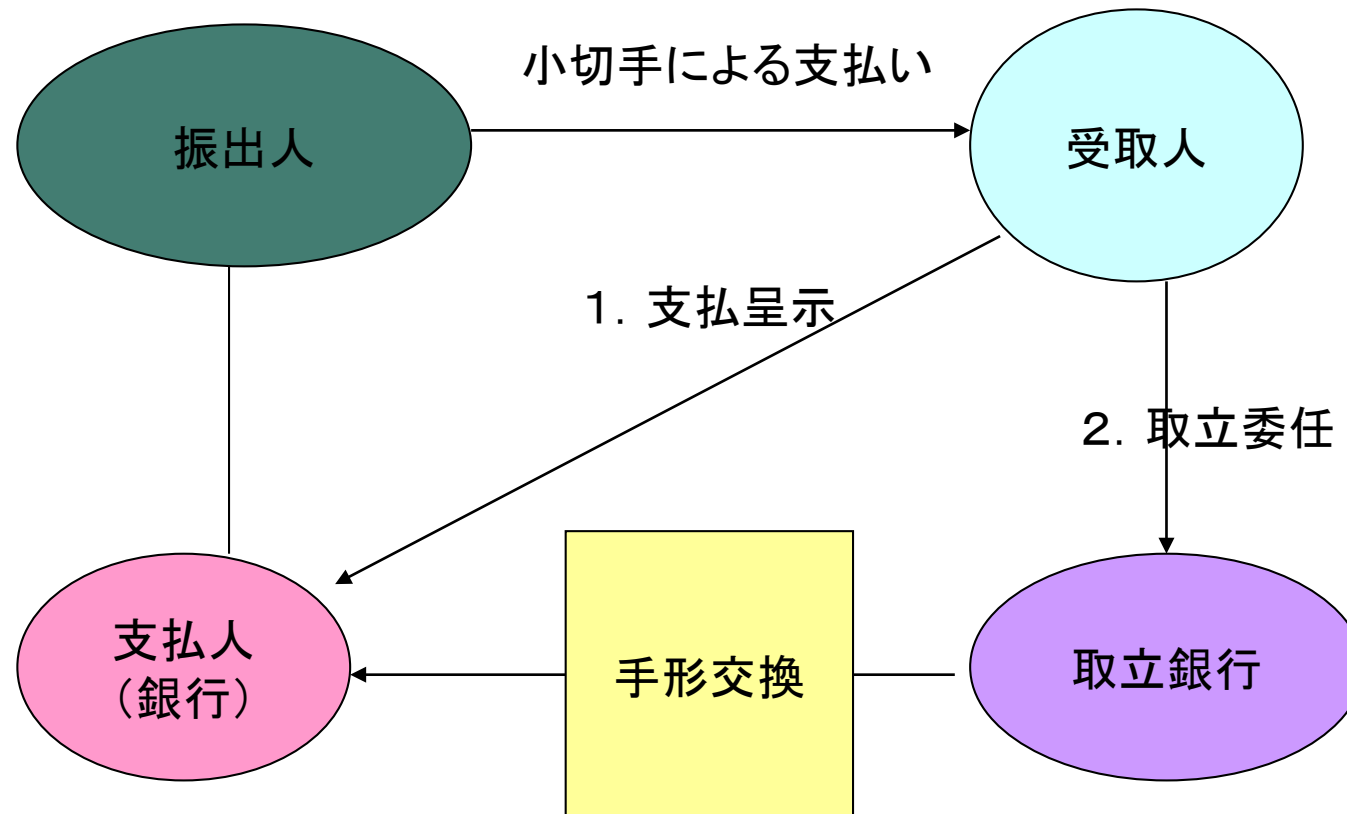
引当金

「将来の特定の費用又は損失であって、その発生が当期以前の事象に起因し、発生の可能性が高く、かつ、その金額を合理的に見積ることができる場合には、当期の負担に属する金額を当期の費用又は損失として引当金に繰入れ、当該引当金の残高を貸借対照表の負債の部又は資産の部に記載するものとする。」(企業会計原則注解注18)

会社計算規則は、退職給与引当金(6条2項1号)、返品調整引当金(6条2項2号)を例示(限定列举ではない。1号柱書参照)

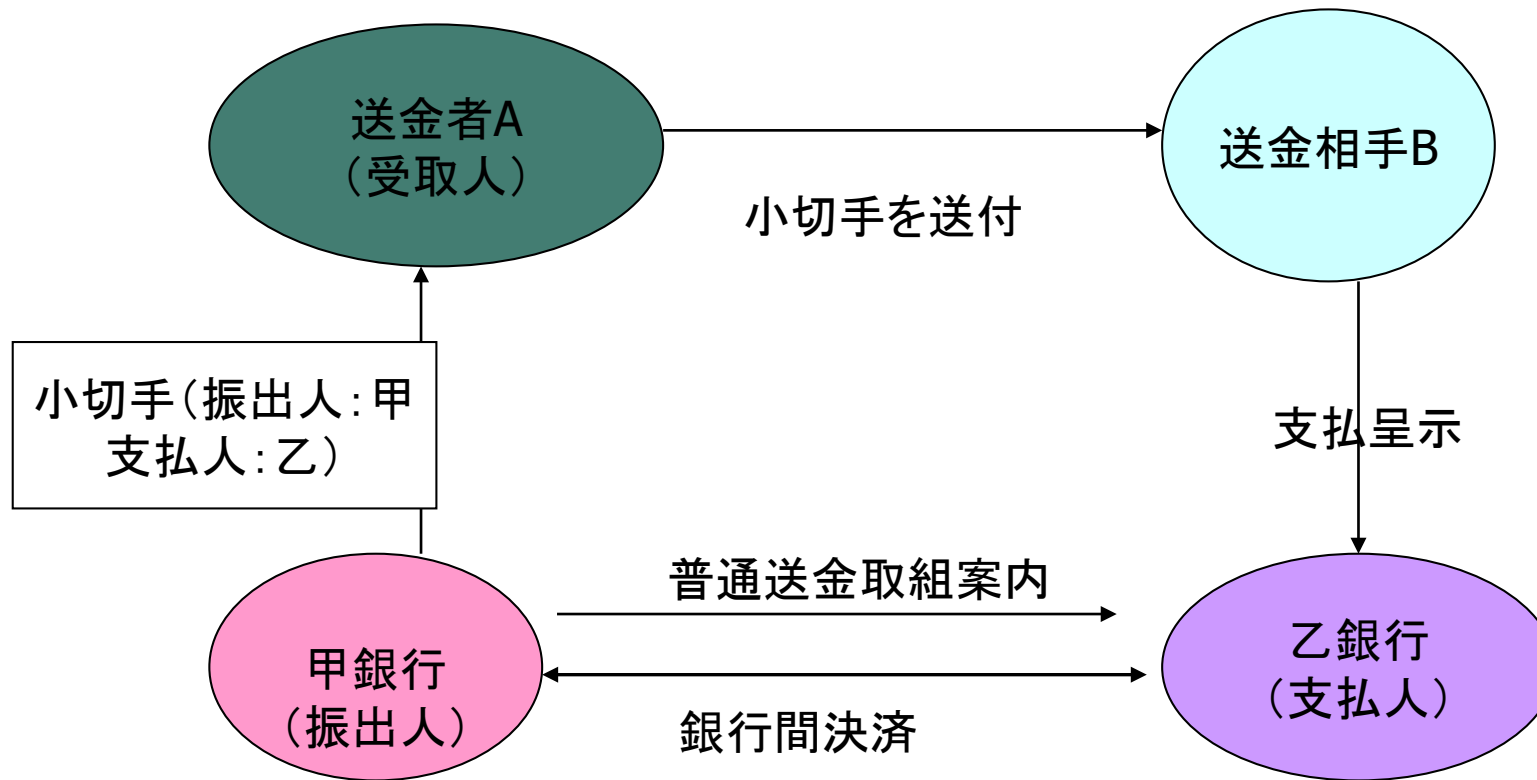
種々の会計基準 「退職給付に係る会計基準」(平成10年6月16日)(企業会計審議会)、企業会計基準第26号「退職給付会計に関する会計基準」(平成24年5月17日最終改正)、企業会計基準第4号「役員賞与に関する会計基準」(平成17年11月29日)、企業会計基準第18号「資産除去債務に関する会計基準」(平成20年3月31日)及び企業会計基準適用指針第21号「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(平成23年3月25日最終改正)

小切手の経済的機能(1)

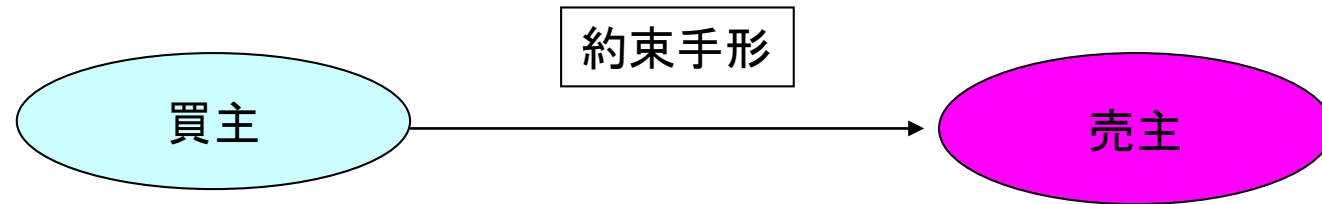


小切手の経済的機能(2)

送金小切手



約束手形の経済的機能



借用証書(指名債権)との違い

容易に譲渡・換金が可能

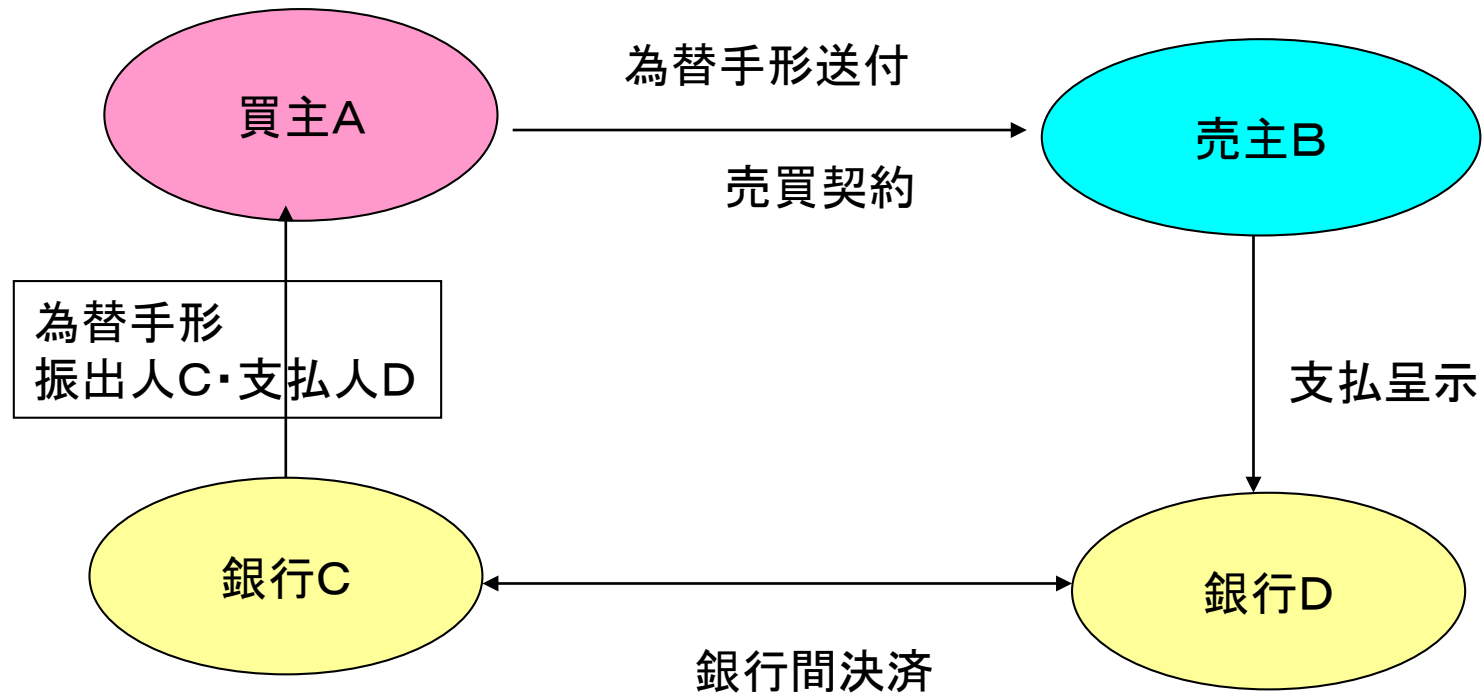
債権の存在の証明

手形訴訟の利用

取引停止処分による制裁

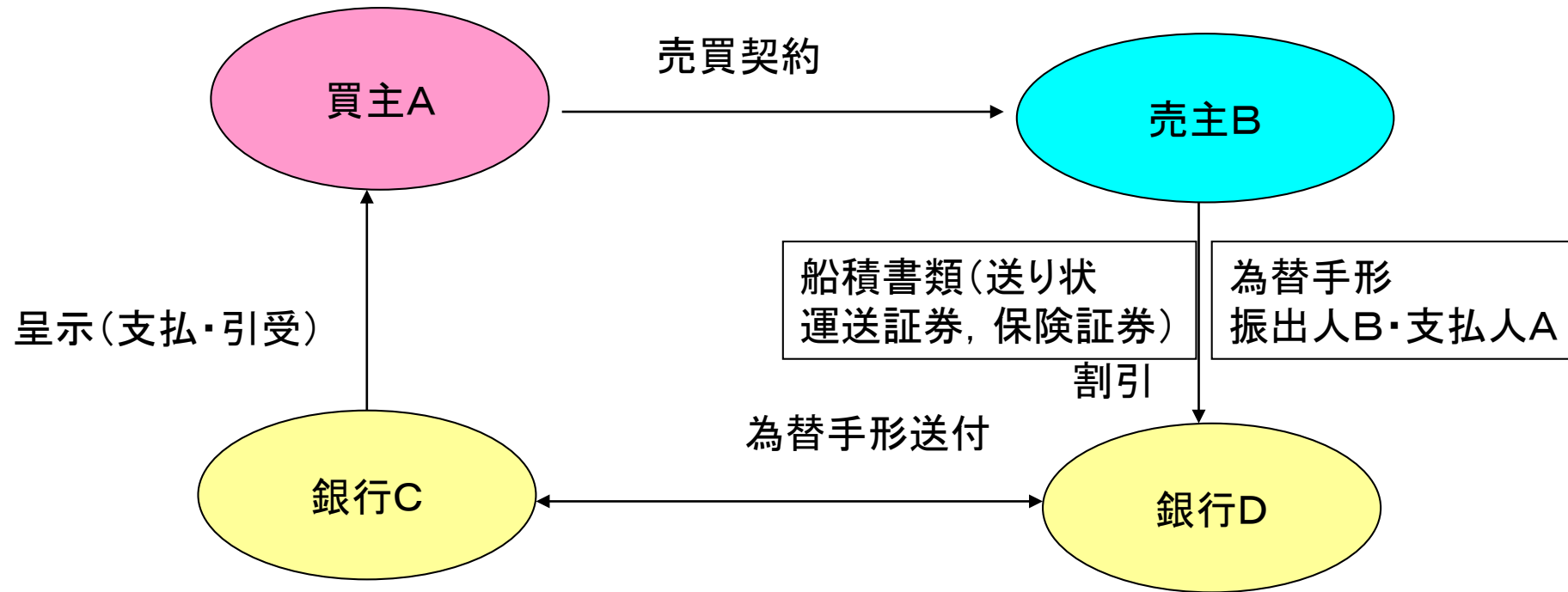
為替手形の経済的機能

送金為替(順為替)

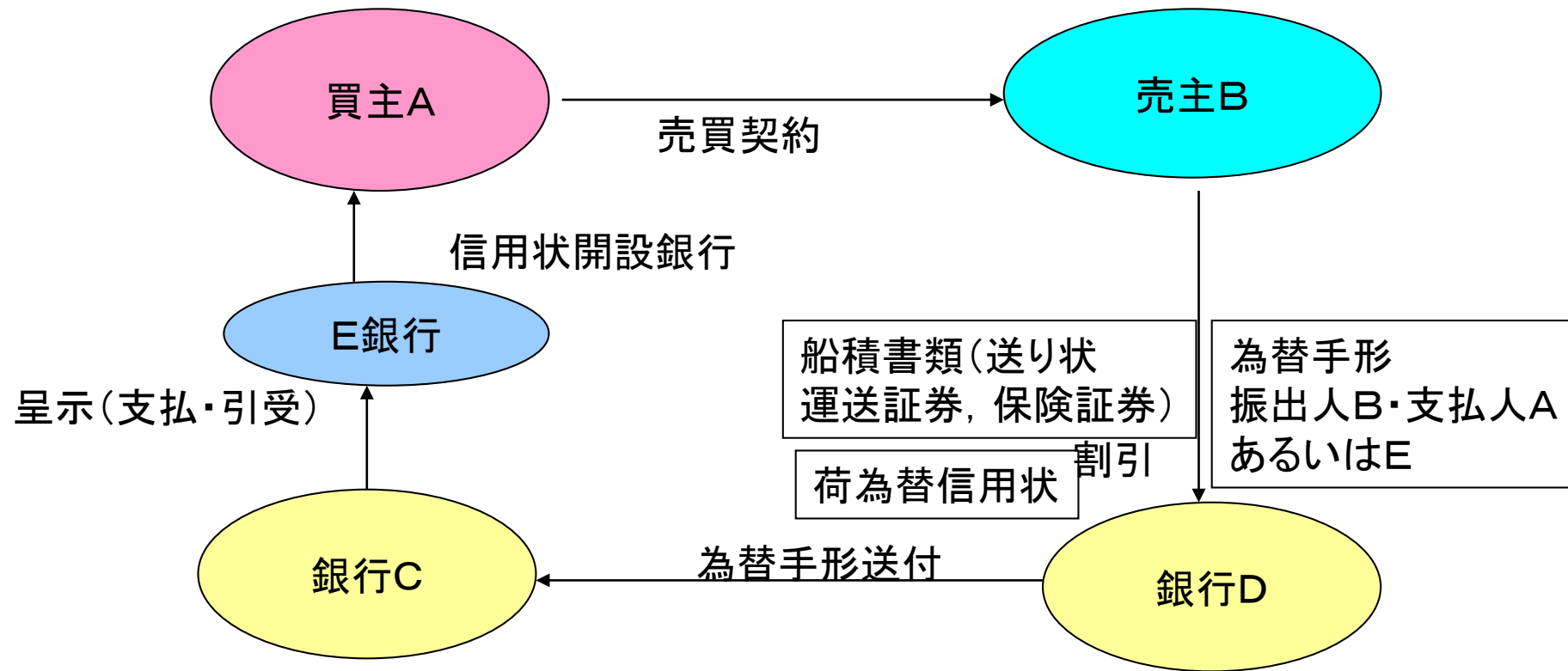


為替手形の経済的機能

取立為替(逆為替)



為替手形の経済的機能



手形・小切手を巡る諸ルール

例：約束手形

